

8. 組織／ゲル／ フィルター用溶解剤

組織、ゲル、植物セルロース、フィルター等のサンプルの溶解に適した製品です。



●溶解剤のバイオソルとシンチレーションカクテル剤のバイオシンチを組み合わせで使用できます

●透明エマルジョンで測定

バイオソル (Biosol™) 溶解剤

バイオシンチ (Bioscint™) シンチレーション カクテル剤



カタログ番号	数量
バイオソル	
LS-310-1	400mL × 1 本
LS-310-2	400mL × 2 本
バイオシンチ	
LS-309-1	4L × 1 本
LS-309-2	4L × 2 本

消防法 (バイオソル)
該当なし

消防法 (バイオシンチ)
危険物第四類 第三石油類 水溶性液体

アプリケーション

■ 組織の溶解、組織ホモジネート、生物学的サンプル、血液、脳、ポリアクリルアミドゲルなどのサンプルの測定

バイオソル (LS-310) とバイオシンチ (LS-309) による溶解サンプルの調製法 (プロトコル)

- 1 ガラスシンチレーションバイアルに、組織 (200mg まで) または血液 (1mL まで) サンプルを入れる。粉末状や細分化した組織はより迅速に溶解される。溶解時間を長引かせないように、バイアルの底にサンプルが付着しないようにする。
- 2 バイオソルを 1mL 加える。渦を作らないように優しくかき混ぜる。
- 3 透明になるまで 50℃ で 1 ~ 4 時間インキュベートする。
- 4 必要に応じて (血液または他の色素サンプルの場合)、30% の過酸化水素を 0.2mL 加えて脱色する。緩くキャップをして、50℃ で 1 時間インキュベートする。
- 5 常温まで戻し、バイオシンチを 10mL 加えて測定する。

バイオソルは、組織、フィルター、ポリアクリルアミドゲルを含む様々なサンプル用の溶解剤であり、バイオシンチはそれを中和するシンチレーションカクテル剤です。これらを組み合わせると、バイオシンチがケミルミネッセンスを抑制し、溶解剤 (バイオソル) を危険性の低いものに変えることができます。

バイオソル：バイオシンチ比を 1：10 で混ぜて使用する場合、米国では EPA 40 CFR Subpart C に基づき、無害廃棄物として処理することができます (個々の使用の場合は無害溶液として処理することはできません)。バイオソルはあらゆる水溶性サンプル用シンチレーションカクテル剤と混ぜて使用できますが、バイオシンチと混ぜることでバイオソルを無害溶液にする効果があります。

保管法：バイオソルは劣化しやすいため、冷暗室でキャップをきちんと締めた状態で保管してください。